

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

施策名	廃棄物対策	施策コード 4-3-2	作成主管課	環境保全課
			関係課	

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第4章 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり【生活環境】
	小政策	3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります
現況と課題	<p>ライフスタイルの変化により、ごみ量の増大やごみ質の多様化による廃棄物問題が深刻化し、さらには地球温暖化や環境資源の枯渇化などの問題から、循環型社会の形成に向けた意識はますます高まっています。本市ではこれまで、分別収集の推進、資源物集団回収や3R運動等の推進に加え、市民一人ひとりの環境美化意識を高めるためクリーン作戦などを実施してきており、一般廃棄物処理量については、年々減少傾向にあります。また、本市のごみ処理は、笠間地区はエコフロンティアかさま、友部・岩間地区は隣接する水戸市(内原地区)と構成する笠間・水戸環境組合で進めてきたところですが、各施設の効率的・効果的な処理に向けたごみ処理基本計画の見直しについての検討が急務となっています。さらに、持続可能な社会を構築していくためには、環境に対する負荷を低減させるとともに、限りある資源の有効的利活用が大きな課題となってきます。今後は、市民が将来にわたり健康で暮らし続けるために、市民・事業者・行政が一体となって、より一層ごみ減量化や廃棄物の再資源化を推進するとともに、引き続き不法投棄やポイ捨て対策等を実施し、ごみのない清潔で美しい環境づくりに取り組んでいく必要があります。</p>	
施策目標	市民が将来にわたり健康で暮らし続けるために、循環型社会に対する意識の高揚を図るとともに、ごみの減量化や再資源化を推進し、癒しの環境づくりを進めます。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
ごみの減量化・リサイクルを実施している市民の割合	市民実感度	90.730	86.310	86.750			
	加重平均値	3.537	3.497	3.447			
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		96.090	95.780			
	加重平均値		3.730	3.663			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
1人1日あたりのごみの排出量(生活系)	目標値	g		700	700	700	700	700
	実績値	g	738	711	697			
	達成度	%		98.45	100.43			
	ベンチマーク							
ごみの再資源化率(リサイクル率)	目標値	%		22.5	23.0	23.5	24.0	24.5
	実績値	%	22.0	26.1	25.6			
	達成度	%		115.56	111.30			
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	循環型社会の構築に向け、ごみの減量化や再資源化を推進するため、数値目標を1人1日あたりのごみの排出量と、ごみの再資源化率を数値指標の項目とした。
	目標値設定の考え方	1人1日あたりのごみの排出量については、茨城県の平成20年度の実績値を市に当てはめて700gを目標値とした。リサイクル率については、8万人人口都市の平均値23.3に向けて年々強化を図っていく。

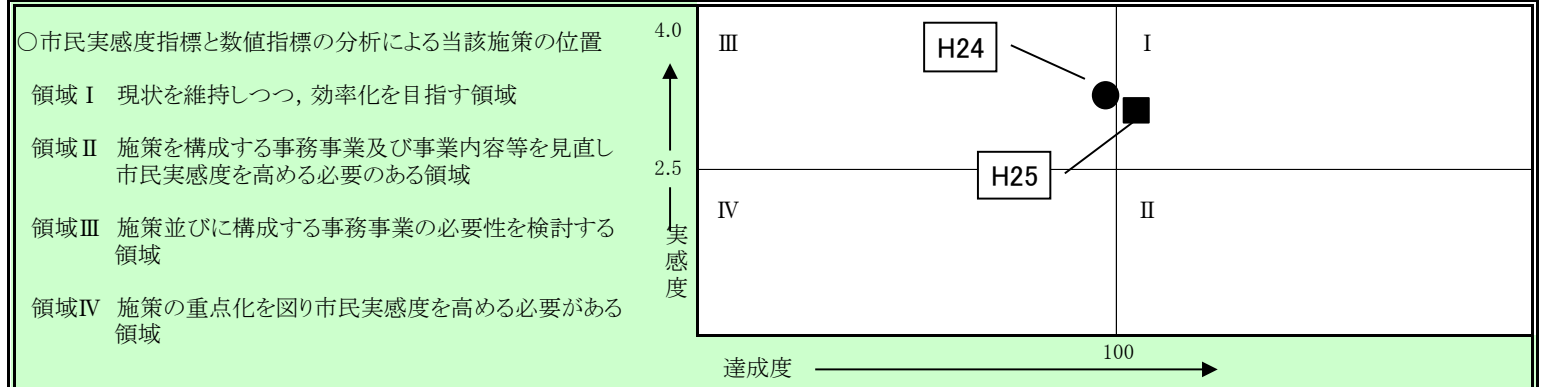
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 ・ごみの減量化・資源化に協力するとともに、分別収集を推進する。 ・ごみの出し方等市民の守るべきルールを徹底する。 ・ポイ捨て・不法投棄箇所の情報提供を行う。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 ・ごみ減量化に関する啓発をするとともに、分別収集を徹底し、ゴミの資源化率を向上させて、循環型社会の形成に向けた意識を高めていく。

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 資源物集団回収補助団体数116団体となり、取組み団体が増え、989,790kgの回収があった。不法投棄対策として、市民協力のクリーン作戦を年3回実施し28,190kgの回収をした。また、不法投棄回収作業を委託し年間66,660kgを回収した。し尿処理(浄化槽汚泥を含める)については市全体で23,748klであった。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	一人1日あたりのごみの排出量は、目標値700gであるが697gとほぼ達成できている。
-------	--

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	妥当と思われる。
------------	----------

平成26年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	ごみ減量化を進めるため、分別の徹底とリサイクル意識の向上が必要
--------	---------------------------------

5 今後の方向性

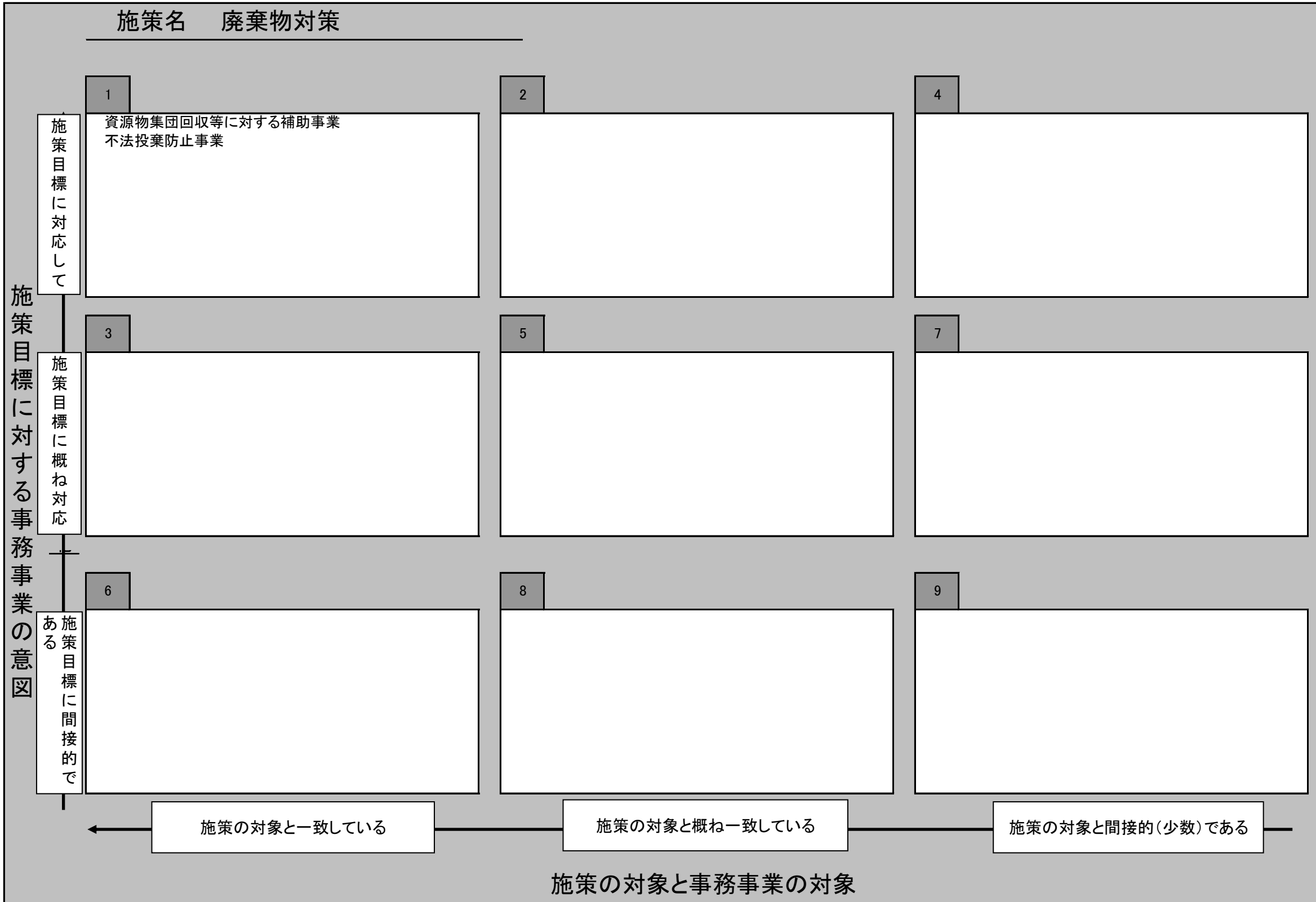
取組方針	平成27年度に向けた施策方針 廃食用油の回収を奨励し、助成の対象とする方針で進める。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			貢献度評価			
			成果指標	単位	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成23年度		平成24年度	平成25年度	
1	分別収集事業	住環境の向上と循環型社会の構築を目指す。	義務的事業	1日一人当たりのごみの排出量	g	738	711	697	市単	843,506	807,640	767,974	義務的事業
2	資源物集団回収等に対する補助事業	住環境の向上と循環型社会の構築を目指す。	政策的事業	資源物集団回収実施団体数	団体	116	115	116	市単	5,803	5,720	5,786	1
3	不法投棄防止事業	不法投棄の未然防止, 不法投棄物の撤去による清潔な自然環境を目指す。	政策的事業	不法投棄処理数	件	62	38	88	市単	7,618	10,902	10,110	2
4	し尿処理体制事業	資料の適切な処理により, 清潔な住環境の整備を図る。	義務的事業	年間処理量	kl	25,403	23,591	23,748	市単	155,763	154,406	166,564	義務的事業
5	エコフロンティア対策事業	エコフロンティアかさまの建設に伴って, 地元還元として地域振興事業を行う。又, 地域の環境を監視するため, 月1回監視委員会を実施する。	義務的事業	上水道整備補助世帯数	世帯	117	120	121	市単	153,156	176,735	212,644	義務的事業
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
事業費合計										1,165,846	1,155,403	1,163,078	

# シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 廃棄物対策



施策目標に対応して

資源物集団回収等に対する補助事業  
不法投棄防止事業

施策目標に概ね対応

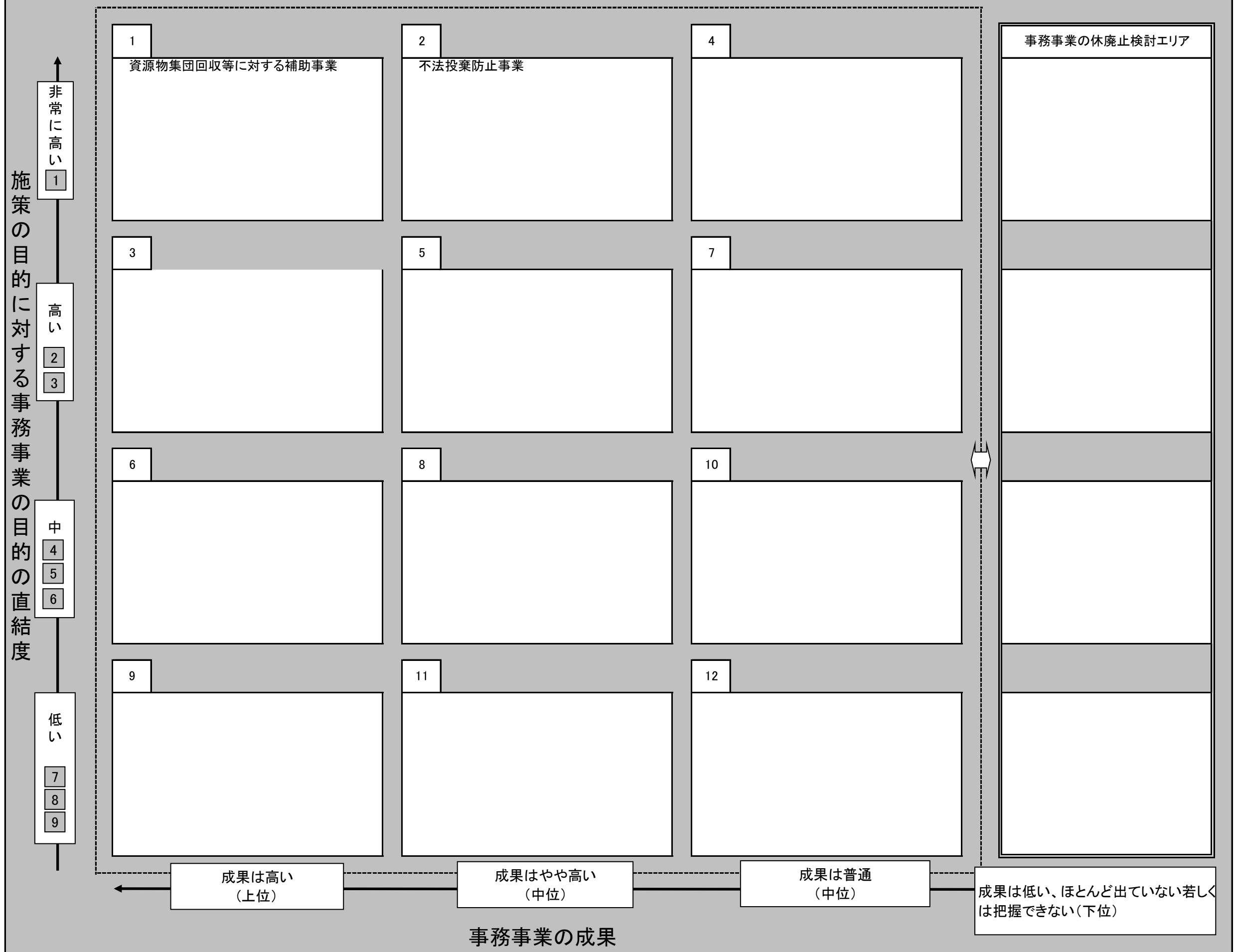
ある施策目標に間接的である

法定受託事務(義務的事業に分類)
分別収集事業 し尿処理体制事業 エコフロンティア対策事業

事務事業の成果基準の説明
--------------

# シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 廃棄物対策



事務事業の休廃止検討エリア


法定受託事務(義務的的事业に分類)

分別収集事業  
し尿処理体制事業  
エコフロンティア対策事業

事務事業の成果基準の説明